

平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	社会復帰促進等事業に関する検討会等経費		担当部局庁	労働基準局労災補償部		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成18年度		担当課室	労災管理課		木暮 康二		
会計区分	労働保険特別会計労災勘定		施策名	Ⅱ 2 4労働災害に被災した労働者等の社会復帰に向けたリハビリ等を支援する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	労働者災害補償保険法第29条第1項乃至第3項		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	労働者災害補償保険法に基づく社会復帰促進等事業に関しその費用負担者である使用者団体の代表と厚生労働省とによる社会復帰促進等事業の円滑な実施やあり方についての検討会を開催すること等により、適正な社会復帰促進等事業の実施を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	社会復帰促進等事業の効率的・効果的な事業運営を図るため、各事業の性格に応じPDCAサイクルによる目標管理を行い、その事業評価の結果に基づき予算を毎年度精査するとともに、合目的性と効率性を確保するため、本検討会を年2回開催すること等により各事業の必要性についての徹底した精査を継続的に実施する。 ※なお、平成24年度までは「社会復帰促進等事業に関する検討会等経費」において予算計上してきたところであるが、平成25年度予算においては「労災保険相談員等設置経費」に予算計上している。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
		当初予算	7	4.8	4.7	6.1		
		補正予算						
		繰越し等						
	計	7	4.8	4.7	6.1			
	執行額	0.318	0.303	2.9				
執行率(%)	4.5%	6.3%	61.7%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (24年度)	
	会議の出席委員全員から、当該会議が有用であった旨の回答をいただく。		成果実績	%	-	-	100%	100%
			達成度	%	-	-	100%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	年度中に2回社会復帰促進等事業に関する検討会を実施する。		活動実績 (当初見込み)	回数	-	-	2回	-
					-	()	(2回)	(2回)
単位当たりコスト	-		(円/)	算出根拠	本経費は社会復帰促進等事業に関する検討会等を開催すること等により、各社会復帰促進等事業の適正な実施を図るために必要な事務的な経費であるため、単位当たりコストの算出は困難である。			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	庁費	3.3						
	謝金	0.8						
	旅費	2						
	計	6.1						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的 状・ 予算 の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	社会復帰促進等事業の効率的・効果的な事業運営を図るために必要。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	社会復帰促進等事業を行っている国が実施すべき事業である。
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	事務費の執行が低調であったため
資金の 流れ、 費目・ 使途	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	—
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	—
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	事業主が費用負担している社会復帰促進等事業の適正な執行に資するため受益者との負担関係は妥当である。
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	—
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	検討会の開催に必要な事務費、謝金、旅費等に限定している。
活動 実績、 成果 実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	—
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	会議の運営にあたり、出席委員からの評価を成果目標に設定し、達成している。
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	事業の検討に必要な年間2回の会議を設定し、確実に開催している。
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	—
	—	※類似事業名とその所管部局・府省名	—
—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	—	
点 検 結 果	本経費は社会復帰促進等事業の各事業について外部有識者等による点検・評価を行うための経費等であり、今後も適正な執行に努めることとしたい。		
予算監視・効率化チームの所見			
—			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
—			
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
—			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	660-4	平成23年行政事業レビュー	0979

厚生労働省
2.9百万円(平成23年度執行額)

社会復帰促進等事業に関する検討会等経費

事務費
2.9百万円

会議速記料、検討会等出席謝金、
検討会等出席旅費、実態調査旅費等

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0